



Gazon Maudit

新鮮すぎて、コワイ恋。

'95ゴールデン・グローブ賞外国語映画賞ミネート作品

彼女の彼は、彼女

監督・主演 ジョジアヌ・バラスコ
出演 ビクトリア・アブリル アラン・シャバ
製作 クロード・ベリ

1994年/フランス映画/カラー/105分

'95セザール賞脚本賞受賞

他4部門/ミネート 作品賞 監督賞 主演男優賞 助演男優賞

ヨーロッパで大流行!

女たちをめくるめく陶醉させ、

男たちを震感させた

"禁断の芝生"現象

GAZON MAUDIT日本上陸

配給: 巴里映画 + ギャガ・コミュニケーションズ



GAGA

これは、'恋愛生態系'をゆるがす恋愛論!

恋愛にサクセスするのは、いつも女。何たって、女はダイヤモンドのように強いから。思いどおりに恋して求める。恋のコレクションは、女の勲章。

さて、様々の恋を味わいつくした女たちの究極の選択は、これしかない。何とも神秘的。何とも新鮮。

でも、はまったら抜け出られない迷路みたいな恋、そして愛。「男が女を愛するとき」をP.スレッジは歌ったけれど、この恋にはどんな曲がお似合いかしら?

毒薬みたいな、いえ、パンドラの箱と言おうか、そんな味わいのこの映画。

ゲイの男たちが際立つ?フランスでは400万人を動員したほどの問題作。しかし、こんなやさしくて楽しい問題作は、めったにない!

原題の「GAZON MAUDIT」は「呪われた芝生」あるいは「禁断の芝生」という意味があり、MAUDITは「同性愛者」を意味する。GAZONの「芝生」というのは、「女性の性シンボル」を表わす隠語。

彼女の彼は、彼女

© Renn Productions / TFI Films Production / Les Films FLAM 1994

(CAST)

マリジョ: ジョジアヌ・パラスコ
ロリ: ビクトリア・アブリル
ローラン: アラン・シャバ
アントワヌ: ティッキー・オルガド
ディエゴ: ミゲル・ボゼ



Gazon Maudit

(STAFF)

製作: クロード・ベリ
監督/脚本: ジョジアヌ・パラスコ
撮影: ジェラルド・ド・パッティスタ
衣装: ファビエンヌ・カタニ
美術: カルロ・コンティ
音楽: マヌエル・マロウ

恋人と一緒に、相手の反応をさりげなく確かめながら楽しみたい、コワイ映画である。

監督・脚本・主演のジョジアヌ・パラスコの、男衆への怒嗔は、相当根深いと見た。

荻野アンナ (作家/慶応義塾大学仏文学助教授)

「彼女の彼は、彼女」に登場する男と女の新しい関係の中で、誰に感情移入するかで、自分のセクシャリティーの位置がわかる。これは試されるような映画だ。

斎藤 綾子 (作家/『ルビーフルーツ』原作者)

観客を感動させる作品というものは、必ず2つの要素をもっている。それは「観客にとって、とっつきやすいこと」と、「その観客を攻撃的に打ちのめす」という相反する要素に支えられている。

二大要素がうまく生かされたこの作品は、まさに「こしょう味のおいしい砂糖菓子」ともいえる。監督ジョジアヌ・パラスコの霊感から生まれたような傑作である。

(カイエ・デ・シネマ)

「美しすぎて」の名演技で日本にもファンが多いジョジアヌ・パラスコは、本作品で監督・脚本の才能も高く評価された。この作品は、ヨーロッパ各国、そして北米、南米でも大評判を博し、あの「赤ちゃんに乾杯」的存在となっている。パラスコの考えるセックス・シンボルとしての理想の女を演じるのは、ビクトリア・アブリル。

アルモドバル作品で知られているが、スペインを代表し仏映画にも出演は多い。大人の女が生み出す愛のムーブメントは、フランスのみならず日本の女性にあこがれとなるだろう。

7/13(土)~8/2(金)ロードショー

12:00/2:25/4:30/6:35 大阪市北区神山町1-11

前売一般=1,400円 前売学生=1,200円

(当日一版=1,700円 当日学生=1,400円)

扇町ミュージアム・スクエア

電話 大阪(06)361-0088